

暑くなってくるとカシミヤ作りはだんだん忙しくなります。
二〇一五シーズンがはじまりました。

現在地に引越して、二カ月が経ちました。
新しいオフィスは、表参道駅を出て青山通りから骨董通りに入って、約四分、向かって左側。お花の小原流会館の、先の先のビルです。
皆様のお越しをお待ちしています。

北上に来て四年目の春。
やとと名所展勝地の桜の開花シーズンに行くことが出来ました。



【五回目の寄付】

UTO Kitakami (ユニティーキャミ)ブランドの売上の一部を東日本大震災の被災者の方へ北上市を通して寄付させていただきました。

岩手県北上市へニット工場を移転してきたのを機に、一枚売上が上がることに1000円を寄付するUTO Kitakamiブランドを作りました。

時間の経過ともに忘れられてしまう震災。そうならないように、(ブランドが)続く限り寄付を続ける・売上が増えると寄付もふえる)そんな特徴もありますが、基は一枚一枚丁寧に作る岩手の北上で作られ、世界に通用するニットブランドです。自社企画製造販売の価値あるニットです。
みなさんの応援を、よろしく願います！

【はじめまして飯塚(イツカ)です】

どうぞよろしく願います。

入社してひと月になるところなのですが、桜が散って、藤の花が咲き、季節は日に日に夏に向かっていますね。
今住んでいる家がアパートなので出窓の小さなスペースで使いやすいハーブを何種か育てているのですが、先月まで十センチほどだったセロリがこの一ヶ月で二十センチにまで成長してしまいました。

新緑の美しさと春のエネルギーに感激しながら、セロリをたくさん使う料理を作ったことがないことに気がつき、ただただ成長を見守りアブラムシをちまちま取り除く毎日を通して



ます。(セロリは驚くほどにアブラムシがやってくるのです。これも無農薬ならではのことですね。)

近頃は天気予報で「真夏日」という言葉を耳にする日が増えてきました。

冷房をかけた部屋でカシミヤを扱うことは、冬の日のコタツでアイスを食べるような不思議な気持ちになります。

私は小さな頃からカシミヤを触ることが大好きなので、触りたい！着てみたい！...暑い！と傍から見たら一人芝居のような状態でひとつひとつの商品を覚えていくところです。

しかし、暑さよりもカシミヤを触っている時のなんともいえない幸せな気持ちが勝つてしまいます。

これから本格的な夏になっていきますが、皆様にもわくわく、ドキドキ、幸せな気持ちになっていただけるような商品をお届けできるよう、夏の暑さに負けぬ熱い気持ちで今年の夏を乗り切りたいと思います。
皆様も、お体に気をつけて素敵な夏をお過ごしください。

【青山・表参道界隈】

東京の世界的な新名所

観光スポット・渋谷スクランブル交差点は、安全・安心・無料

観光旅行の目的は、『日常と違う未知の世界を垣間見たい』に、尽きますね。

そこに住みつくわけでもなく、仕事に行くわけでもない、そこに行かなければならない強制のない観光旅行のもっとも大事な要素は『安心・安全』という平和が絶対条件です。ね。
観光旅行ですから、普通の人は、ちよつとでも危険な処だったら『今回は他の処に行きましよう』。危険なことが起きたと聞いたら、『次の機会に行こう』と、いうことで危険な処は敬遠して、安全な処、安全な時期を求めて旅行します。
その上に多くの人が安価を求めます。お安く上げるに越したことはないのです。

究極の人気の観光地は『平和の中で、安全・安心・安価』と云うことになります。

日本へのインバンドの観光客が1400万人を超えたそうです。

長年の悲願だった1000万人の万台を超えたと思つたら、いきなり4割増ですね。

予想外に多くの人たちが日本を訪れています。その予想外の処の典型が東京は、渋谷のスクランブル交差点でしょう。

ここは東京で一番の観光スポットだそうです。マコシティの2階通路(京王井の頭線への)からスクランブル交差点が見える処には、連日多くの外国人観光客がカメラを構えています。中に

はTVクルーとわかる取材陣を見かけることも多くなりました。

テレビの番組で『なぜ、渋谷のスクランブル交差点に行くのですか？』日本人にはわからない！でもそんなに理由があるとか、解らないというような難しいことではないと思います。

花の都、パリのシャンゼリール通りを歩いてみたい
ローマの休日でもみたスペイン広場の階段に座ってみたい
ニューヨークのタイムズスクエアに立ってみたい
東京渋谷のスクランブル交差点を渡ってみたい

行ってみたいところは、きつかけはあるけど、みんながみな、そんなに堅い理由があるわけではないでしょう。
結局人々は、お祭りみたいに、安全で、安心で、安価(無料)で、多くの人が集まる場所に行ってみたいんですかね。



コットン100% 7G 畦編半袖セーター

UTO kitakami (まかない商品)

2132-2231 ¥10,800 税込



シンプルなデザインでどんなボトムスでも相性抜群。軽く透け感があり、インナーとの合わせも楽しんでいただけます。最高級スーパーコットン

推定市場価格 ¥24,000 前後

コットン100% 12G ドット柄9分袖カーデ

UTO kitakami (まかない商品)

1112-2109 ¥10,800 税込



少し大きめサイズのドット柄が可愛いカーディガン。軽くさつと羽織れる着心地の良さを感じていただける逸品。これからの季節にもとても便利な一枚です。スーパーコットン使用

推定市場価格 ¥24,000 前後

コットン100% 7G ケーブルカーデ

UTO kitakami (まかない商品)

2137-2222 ¥14,040 税込



柔らかいスーパーコットン。ケーブル柄が可愛い奥やかなカーディガン。着心地の良さを感じていただける逸品。これからの季節にもとても便利な一枚です。

推定市場価格 ¥29,000 前後

* カシミアとニットの話 * (51)

UTOのまかないニット

カシミアの閑散期を利用して、私達でも気軽に着用できるお手軽価格のニットを作りました
秘密の裏メニューで、UTOの直売超品です



空気がきれい！水がきれい！UTOのニットは素晴らしい環境で作られます

UTO kitakami と 私たちのふるさと岩手県北上の豊かな自然と清冽な環境が自慢です



手抜きできないのが私たちの欠点？
カシミアもまかないも私たちが作ります



東北三大桜



岩手県北上市に工場を移設して四年が経ちます。
北国の春は遅く、桜前線は例年五月の連休前後が見ごろのようです。
一〜二ヶ月ぐらいの間隔で岩手に行きますが、桜の開花はタイミングが合わず今まで見れませんでした。今年、やっと開花の時期に訪れることが出来ました。
北上に泊まると、ホテルから北上川沿いを歩いて珊瑚橋を渡って桜並木の展勝地公園を散歩するのが何よりの楽しみです。何時もは緑のトンネルですが、今回は満開直前の最高の時期でした。珊瑚橋の近くには北上川を横切った鯉橋が賑わいを足してワクワク気分の散歩でした。

展勝地公園の桜はかなり古木の桜並木が見事ですさすがに東北三大桜だと合点します。
青森県の弘前城跡の桜、秋田県角館の武家屋敷の桜と岩手県北上市の展勝地公園の桜並木が東北三大桜名所と呼ばれています。
桜の時期の弘前と角館は知りませんが、桜開花時期以外の時期に訪れましたし、写真ではよく見えます。中でも、角館の武家屋敷跡の風情は大好きで今までも五〜六回ぐらい泊まって早朝に散歩しました。緑葉のころが多いのですが、開花時期はさぞ綺麗だろうと思っていました。武家屋敷からすぐ近くの松木内川堤の桜並木も見事です。

私はこの三か所の東北三大桜に納得する者ですが、北上市役所を訪れた時に、観光課の及川課長さんとこの東北三大桜の話題になりました。
この東北三大桜の企画は、当時及川課長がまだ観光課の平職員で、現在の及川副市長が観光課長の時に、及川課長が弘前市と角館市に、『東北三大桜』を提案されて始まったというエピソードを聞き、ビックリしました。

正直、東北三大桜ということを聞いたときに、いったい誰が考えて、誰が決めたんだろうかと思っていました。
日本では日本三景をはじめ、三大何々は評価が高いので、絶対的なブランドになります。特に桜に関しては日本人みんなが自薦他薦があり、おらが街の桜が一番と誰もが思っているはずだから、やられた！と地団駄踏んでいる自治体は多いはず。これを提唱して決めた人は凄いなアアイデアマンか、強烈な政治力を持った人だろうかと思っていました。

その人が、いつもUTOをニコニコと応援してくれている現・及川副市長だと聞いて正直びっくり(失礼)。
『東北三大桜』は北上市のとてつもない財産だと思います。

世界のホテルを旅する(五十一)

元 旅行屋のお勧め レイクルイーズ・カナダ
パラダイス ロッチ

旅行が好きで、海外旅行の会社に就職した時から、夢だったカナディアンロッキーに行けたのが十年目の一九八〇年でした。
憧れだったバンフスプリングスホテルに泊まることが出来たけど予算を使い果たし第二志望のシャトーレイクルイーズをあきらめて案内所で紹介してもらいましたが、予想以上の大正解のホテルでした。

ロッチと云っても日本では言われるような素朴な山小屋の感じは全くなく、太い木を使った豪華な内装の自然派ホテルです。

滞在客は、カナディアンロッキーの大自然の中で森林浴をしながらのんびり散歩したり、険しい岩山を眺めたり、読書したりして過ごす滞在型で山小屋というよりリゾートホテル。

せわしい日本人の私にとって、滞在しているみなさんがとても余裕があつて、贅沢な時間の使い方をする人たちが、「西洋人はこんな休暇を過ごすのか？」と、とても羨ましい思いをしたホテルでした。

二回で初めてジャガージーを体験しました。
温めの湯でバブルを浴びながらカナディアンロッキーの山と森を眺めながらの最高の時間を過ごしましたが、日本人には水着で楽しむ露天風呂感覚でしょう。

레이크ルイーズでは苦しい思い出が一つあります。
カナダに来る前はバハマやマイアミ、ワシントン、ニューヨークを巡る車の旅で、3日に一回は洗濯の日を決めていました。

アメリカやカナダは街中にコインランドリーが必ず有りとっても貴重していました。
레이크ルイーズはその洗濯日に当たっていました。
良いお天気でもとても気持ちのいい日で、乾燥までノータツで洗濯出来るので、ありっただけの洗濯物をランドリーにがち込んで、寝転んで読書タイムのんびり過ごしていました。



洗濯も終わり乾いた洗濯物をとりだすと、下着からパンツまで真っ赤で、ビックリです！
不覚にも、ニューヨークで「安い！」と、云って三ドル九十九セントで買った赤いシャツが色落ちして、すべての洗濯物に移染してしまつたのです。

仕方がないので、もう一度シャツを抜いて洗い直しましたが、それでもピンク！
今ではそんなことはないのですが、日本では考えられないような堅牢度のいい加減さを体験しました。